

最新のインテル® Xeon(R)E5-2600v4 シリーズ搭載

プロフェッショナルワークステーション&レンダリングソリューションの発売を開始

最新インテル®Xeon®プロセッサと豊富な拡張性により映像編集や計算性能を高める、
プロフェッショナルワークステーションを発売



BOXX Technologies, Inc.(米国 テキサス州 オースティン)製品の国内販売元 トワ電機株式会社 BOXX 事業部(本社：宮城県仙台市)は、BOXX 製最新のインテル®インテル®Xeon®E5-2600v4 シリーズ(開発コードネーム：Broadwell -EP)を搭載した高機能を求められる映像編集、プロダクトデザイン(CAD 設計・製品開発)向けプロフェッショナルワークステーション APEXX シリーズおよびレンダリングソリューション render シリーズの販売を開始いたしました。

製品リリースサイト : <http://boxxtech.jp/newsinfo/v/570a551f51106>

インテル® Xeon® E5-2600v4 シリーズ搭載による特長は以下の通りです。

前シリーズ「Haswell-EP」比でコア数とスレッド数 比較で 約 20%向上

前 Haswell-EP では単一 CPU あたり最大で 18 コア 36 スレッド (XeonE5-2699v3) に対して、今回の Broadwell-EP では最大 1CPU あたり 22 コア 44 スレッド (Xeon E5-2699v4)仕様となります。当然、Xeon® プロセッサはデュアルソケットに対応していますので、CPU を 2 基搭載することにより最大 44 コア 88 スレッドというマルチコアマルチスレッド環境を実現可能になり、全モデルと比較して約 20%以上の性能向上が見込まれます。但し、180W を超える CPU 搭載の場合、システム構成によって最大消費電力により仕様の制限がございます。

また、E5-2600 v4 シリーズでは、AVX を機能が強化され、実行しているコアは自動的に非 AVX コードを実行しているソケットに振り分け、ターボの最大周波数低下を防ぎます。

DDR4-2400 ECC REG 対応

前世代においてはサポートされていた DDR4 メモリの動作周波数は最大 2133MHz までとなっていましたが、今回の「Broadwell-EP」E5-2600v4 シリーズにおいては最大 2400MHz にまで引き上げられています。

I/O 拡張機能の充実

デュアル Xeon プロセッサ搭載により、PCI-Express レーンを最大限利用することができ、マルチ GPU や NVMe SSD など高速な I/O デバイスの利用を可能にさせています。

最新インテル® Xeon® E5-2600v4 シリーズ BOXX 対応モデルは以下の通りです。

プロフェッショナルワークステーション

APEXX1 1802

APEXX1 1800 シリーズは、小型だけでなく、最新の最大 22 コア/44 スレッド インテル®Xeon®E5 シリーズプロセッサを搭載した高性能な世界最小クラスのプロフェッショナルワークステーションです。APEXX1 は従来品の APEXX2 の筐体と比較して 75 パーセント小さく、デスクサイドなどの作業スペースに制約や静音性を求められる環境に最適です。

APEXX 4 7902

APEXX 4 7900 シリーズは、2 つの CPU で最大 44 コア、88 スレッド動作の高性能なインテル® Xeon® プロセッサ E5-2600 v4 を搭載、メディア&エンターティメント向け映像編集 アプリケーションを利用しているエンジニアにお勧めのモデルです。高解像度映像データの編集においてレンダリング時間の大幅な短縮、リアルタイムプレビューを実現させ、編集のストレスを低減し効率的な映像制作のワークフローを容易にさせます。

APEXX5 8904

APEXX5 シリーズは、2 つの CPU で最大 44 コア、88 スレッド動作の高性能なインテル® Xeon® プロセッサ E5-2600 v4 を搭載、さらに最大 5GPU 搭載可能、最大 SSD 20 台搭載など先進的なタワー型ワークステーションは前モデルを上回る強力な汎用性と高い拡張性に設計されておりまさに進化した最強のワークステーションです。

レンダリングソリューション

render PRO

render PRO は、デスクサイドで CG ワークや、アニメーションのワークフローの中でも最もマシンパワーを必要とするレンダリングに特化したパーソナルレンダリングシステムです。Dual Xeon E5-2600V4 シリーズを搭載し最大 36 コア 72 スレッドを実現し、マルチコア・マルチスレッドを最大限利用することが可能になります。

render BOXX

renderBOXX は、ネットワークレンダリング機能を利用し 3D グラフィックスや CG アニメーション、科学計算などの CPU を利用するレンダリングワークフローの業務効率を最大限高めます。専用の 4U ラックマウントユニットに独立したノードを最大 10 台搭載、合計 CPU 400 コア/800 スレッド (40 コア x 10 台) を搭載、タワー型ワークステーションと比較して、大幅に集約性を高め、出力はフロントアクセスでメンテナンスを容易にすることができます。

■ BOXX Technologies 社について

BOXX Technologies は、米国、テキサス州オースティンに本社を構え、VFX、映画やテレビなどの画像処理、ゲーム開発、建築、製造、製品設計、シミュレーション、大学、研究所、公官庁、サイエンス、医療、市場に向けたワークステーションとレンダリングシステムの製造販売を行っています。APEXX シリーズや RenderPro に代表される独自の技術力と、創業時から一貫して高品質で安定した製品を送り出す企業姿勢「Quality more than Quantity」が評価され数々の ISV の認定製品となっています。

■ トーフ電機株式会社について

トーフ電機株式会社は教育機関、研究機関、企業の R&D 部門に対しハイパフォーマンスコンピューティング環境を提供するシステムインテグレーターです。「Quality more than Quantity」の企業姿勢でお客様の要求緒を満たす品質の高い製品の製造販売に努めています。

お問合せについて

本リリース内容および BOXX 製品の詳細についてお気軽にお問い合わせください。

トーフ電機株式会社 BOXX 事業部 プロダクトマネージャー 小島 広

住所：〒113-0033 東京都文京区湯島 3-34-6 湯島ビル 8 階 電話：03-6803-2070 sales@boxxtech.jp

製品詳細については Web サイトをご覧ください: <http://boxxtech.jp>